

施策番号	施 策 名	基本目標		住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	
		政策名		多くの町民に関わり参加する自治のまちづくり	
5-1-2					
	主 管 課	魅力創造課		課長名	内 線
	施策関係課	政策推進課・総務課・都市経営課		我妻 修一	242

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対 象		意 図				結 果	
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。		町民 町に愛着や誇りを持ち係る人		・町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する				まちづくりに係る人が増えることで地域の活力を維持する	
成果指標		説 明	単 位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
①	地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	38.3 (R3)	43.6	44.6			55.0
②	茅室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	94.3 (R3)	91.6	93.6			95.0
③	茅室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	94.6 (R3)	92.7	95.1			95.0
④									
成果指標 設定の考え方		①前期目標値に達していないことから、同数値を設定した。 ②③基準値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。							

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	229,918	203,542	200,855		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察							
①2024年度の成果評価 (前年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した	想定される理由	・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート機能を発揮する町民活動支援センターの活動が大きな役割を果たし成果を上げている。				
	<input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった						
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した						
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	・町内会加入率が年々低下する中、単位町内会、市街地町内会連合会が主体的に行う取り組みに対して、町が一部支援を行ない、より効果的な対策となることで住民意識が向上する可能性がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> いが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能						
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい						
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括							
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町民活動支援センター運営事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業				
③事務事業全体の振り返り(総括)	・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート機能を発揮する町民活動支援センターについて、センター職員と町担当で毎月行う定例会議を通じて、町の理念と方針を運営に反映できるよう努めた。 ・市街町内会連合会との情報共有を密にし、相談対応・助言など、後方支援を行なった。						
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	・町民活動支援センターの活動は、行政と町民をつなぐコーディネート機能を発揮している。一方で、町内会加入率低下に歯止めがかからず、住民自治のあり方そのものを見直す時期にきており、計画策定時と比較して維持したと評価した。	進捗結果	A	B	C	D	E
						○	

A: 実現した      B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した      C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した  
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した      E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・住民自治については今後も必要不可欠であるが、人口減少が続くことや、個人の意識の多様化など、難しい局面を迎えていることから、町民活動支援センターの果たす役割の大きさや、住民自治の担い手確保は喫緊の課題であり、町民活動支援センター機能の強化とともに、町とのより一層の連携、また、住民自治の多様な担い手確保策の模索が必要となる。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・町内会に対する町の役割、スタンスについて、従前と現在、今後において変わったのかとの声がある。 →町のスタンスをこれまでも、これからも変わらず、単位町内会、市街地町内会連合会、町、それぞれの役割、立場を明確にし進める。 ・地域集会施設については、地域活動の拠点として必要との声が多い。 →施設の必要性、規模、機能など、地域の方との意見交換の実施、合意形成を図りながら進める。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

・町内会の加入率は年々低下しており、加入促進やデジタル化、加入促進などに係る、市街地町内会連合会の主体的な取り組みを、町として側面から支援する。また、住民自治の新たな担い手について、調査・研究を進める必要がある。 ・地域集会施設の再編・再整備について、地域との協議を継続する。 ・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート役である町民活動支援センターについて、町との情報共有、連携を図りながら、安定した運営を維持していく。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標の上昇はあるが、町内会活動が衰退しているため維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・まちづくりに対して、アイデアはあるが言えない、行動できない人が居るのではないか。会合などで役場職員が第三者の立場から関わって、仲介してほしい。 ・住民自治について、町の方針が重要。 ・コミュニティは必要。地域1人1人が自分の得意を出し活躍することで、生きがい等にもつながる。 ・町民活動支援センターと役場のつながりやその団体のPRをするとよいのではないか。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					